

東京都理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 27 名

立候補者数 : 25 名



氏名 井出 大

都道府県士会 東京都

年齢 52

勤務先名称 南多摩病院

協会・士会役員歴

平成25年	第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会渉外局副局长
平成26年	日本理学療法士協会代議員
平成26年	東京都理学療法士協会西多摩南多摩ブロック世話人
平成27年	第35回東京都理学療法学会大会渉外局長
平成28年	日本理学療法士協会代議員
平成29年	東京都理学療法士協会八王子市支部副支部長

立候補の趣旨

私は平成9年に理学療法士免許を取得し現在経験年数21年目となりました。新卒にて東京都八王子市の医療法人に入職し、一般病棟、回復期病棟を経ながら訪問看護ステーション、介護老人保健施設での非常勤勤務を経て、現在は同一法人の急性期病院リハビリテーション部門の管理者、法人内の医療機関や介護保険事業所における約140名の理学療法士の教育・採用に関する統括、東京都委託事業である地域リハビリテーション支援センターでの業務、さらに研究開発部門の業務に従事しています。また平成28年度より東京都理学療法士協会八王子市支部の活動を副支部長の立場から推進しております。このような形態の業務から周囲の支援とともに解決へ向かうプロセスで数多くの学びがありました。それは他職種連携というものは、その前提に専門性の追求が必須であることでした。また理学療法を必要としている方々やその支援されている方々を支えるためには、地域内、圏域内といった様々なレベルでの他職種連携の重要性は非常に高く、医療や福祉・介護における連携にとどまらず、行政や地域住民との連携も理学療法を必要としている方々にとっては非常に重要です。これは私が地域リハビリテーション支援センターの事業として八王子市在勤の介護支援専門員に対するリハビリテーションに関する研修会を行政と協業した際、他職種を知ることは自らの存在価値にも気づくという学びから得たものです。理学療法士の専門性・有用性を情報発信さらに進める必要性と今まさに現場に求められている職種なのだと感じています。そこで私は理学療法士自体がさらに前進するためには、理学療法士自身および職能団体としても柔軟に変化していく姿勢と気概が必要だと考えております。微力ながらその一助となる覚悟を持って立候補を決意いたしました。



氏名 中澤 幹夫

都道府県士会 東京都

年齢 48

勤務先名称 多摩丘陵病院

協会・士会役員歴

平成10年～16年	東京都理学療法士協会	ブロック推進委員会委員長
平成17年～28年	東京都理学療法士協会	渉外局 業務推進部部长
平成19年～28年	東京都理学療法士協会	西多摩南多摩ブロック世話人代表
平成21年～現在	東京都理学療法士協会	理事
平成21年	第28回東京都理学療法学会大会	大会長
平成21年	第44回日本理学療法士学会大会	会場運営部 会場責任者
平成24年～28年	東京都理学療法士協会	渉外局次長
平成24年～現在	日本理学療法士協会	代議員
平成25年～現在	東京都理学療法士協会	公益法人推進委員会委員長
平成25年	第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会	学術局次長, 学会賞選考委員会委員長
平成28年	第35回東京都理学療法学会大会	大会長
平成29年～現在	東京都理学療法士協会	地域活性局局长

立候補の趣旨

私は、公益社団法人東京都理学療法士協会の理事、地域活性局局长として、6ブロックに分かれたブロック別、さらにブロックを区市区町村単位に分けた支部の活動を主に行っています。その活動を通じて多くの会員より、経験の若いスタッフを含めた会員の卒後教育、多くの会員の生活の基盤となっている診療報酬、介護報酬、2025年問題に対する地域包括ケアシステムの構築などについて意見をお伺いします。その会員の意見を反映したく代議員に立候補しました。どうぞ、よろしくお願い致します。



氏名 保苅 吉秀

都道府県士会 東京都

年齢 47

勤務先名称 順天堂大学医学部附属順天堂医院



氏名 今井 俊太

都道府県士会 東京都

年齢 31

勤務先名称 自宅会員

協会・士会役員歴

2011年～日本理学療法士協会 神経部会運営幹事
2012年～日本理学療法士協会 日本神経理学療法学会 運営理事

協会・士会役員歴

東京都理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

私は、これまで大学病院にて、主に急性期における理学療法に関わってまいりました。医師の技術革新や、手術機器の高度化、新しい薬剤の導入に伴い、医療は発展的に進化していることをよく経験いたします。またそれらに関わる、我々理学療法分野における新しい知識の取得と、それらの治療と並行して行われる症例への多様な介入と安全への取り組みなど、多くの事を要求されている現状を垣間見ております。また日本神経理学療法学会運営幹事として、多くの会員と学会・研修会などを通して、様々な疾患への理学療法の見点、取り組みや苦勞など、会員の方々の努力を感じこれがどのように協会運営に発展できるかということを考えさせられることもよくあります。このようなことを鑑みて、多くの声を協会へと届ける仲介役として、この度代議員に立候補させていただいた次第です。微力ながら貢献して理学療法士協会の発展に寄与できればと思っております。皆様のご支援のほど宜しくお願いいたします。

立候補の趣旨

昨今、若手の協会離れが深刻化しているように感じています。ただでさえ、年齢による認識格差がある中で、今後協会運営を行う上では一石を投じる状況だと考えています。この状況は、運営側の高年齢化、資格取得者の若年化による、協会運営への関心低下が関係しているのではないかと考えています。その関心を高めるためには、その発信を同世代の理学療法士によって行う必要があります。今回、理学療法士の平均年齢に属する私が立候補することで、同世代または下の世代に、協会運営への関心を広めることができると考えています。



氏名 森島 健

都道府県士会 東京都

年齢 56

勤務先名称 東京衛生学園専門学校



氏名 佐藤 和命

都道府県士会 東京都

年齢 35

勤務先名称 順天堂大学医学部附属順天堂医院

協会・士会役員歴

公益社団法人 東京都理学療法士協会 会長 理事
前副会長・元広報局長・元外宣部部长・前理学療法関連機器開発委員会委員長・前都民の声委員会委員長
日本理学療法士協会代議員・委員会委員

協会・士会役員歴

2013年 - 現在 東京都理学療法士協会 教材資料部 部員

立候補の趣旨

この度、代議員選挙に立候補させて頂きました森島 健です。私は、東京都理学療法士協会では平成27年度より会長の職務に就いております。前会長から業務を引き継ぎ、地域包括ケアシステム構築や東京オリンピック・パラリンピックへの協力、災害対策などの事業に向けて、主に組織力強化に取り組んでいます。そのために、ブロック活動を推進し市区町村での支部活動の立ち上げに力を注いでおります。また日本理学療法士協会では、今日まで代議員の仕事もさせて頂いておりました。日本理学療法士協会と都道府県理学療法士協会は表裏一体の関係であり、お互いが理解し協力しあう必要があります。日本理学療法士協会からの提言を都士会へ周知することや、また東京都理学療法士会の意見を協会へ進言することなど、そのために代議員は大変重要な役割を担う必要があると思っております。この重要な代議員という役割を東京都理学療法士協会の会長という立場で継続させて頂けたらと思ひ、決意を新たに立候補させて頂きました。我々の団体は、会員数も増え大きな組織になりつつあります。今後は、数の増加だけでなく、実のある組織作りが必要となります。組織力を高めることにより、今後の超高齢社会に向けて、誰もが住みやすい地域社会の実現が可能になると思ひます。そのために理学療法士全員の力を結束していきましょう。私も全力で頑張ります。よろしくお願ひいたします。

立候補の趣旨

私は一臨床家として、これまで教材資料部での活動を通して東京都理学療法士協会に貢献して参りました。毎年インターネットやコンピューター関連の発達により、教材資料部での活動もこれまでにない方法や速度で効率的に進む様になってきている事を感じております。また、本代議員選挙を例とするように、今後もインターネットやコンピューターを上手に活用した、新たな業務方法などが多く誕生していくものと考えられます。しかし、このような時代こそ、現場で活動している一人一人の声が返って届きにくくなってはならないと考えております。そこで、東京都で活躍する現場の意見を積極的に協会へ届けていきたいと思ひ、この度東京都の代議員に立候補させて頂きました。どうか皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。



氏名 友清 直樹

都道府県士会 東京都

年齢 40

勤務先名称 山王リハビリ・クリニック

協会・士会役員歴

- 日本理学療法士協会
 - ・広報部部長 (H23～24年)
 - ・広報戦略特別委員会 委員 (H23～24年)
 - ・職能局理学療法士グランドデザイン策定事業委員 (H23～24年)
 - ・広報啓発業務執行委員 委員 (H25～現在)
 - ・第50回日本理学療法学会 広報局 局長 (H22～H25年)
- 東京都理学療法士協会
 - ・大田区支部 支部長

立候補の趣旨

少子高齢社会が進む社会の中では、共に助け合い、誰もが安心して生活し続ける社会に向けて理学療法士の責任と役割は今後大きくなると考えております。また、その社会を構築するためには、一人ひとりの理学療法士の活躍と共に、職能団体としての組織的な活動が不可欠です。私が代議員に立候補した理由は、理学療法士がこれからの社会により一層必要とされる職業とされるよう、会員としての責任をはたすために代議員として協会の運営に関わりたいと考え立候補いたしました。



氏名 千葉 哲也

都道府県士会 東京都

年齢 55

勤務先名称 玉川病院

協会・士会役員歴

- 平成24.4 渉外局長
- 平成28.6 東京都理学療法士協会 副会長
- 平成29.6 日本理学療法士学会 管理部門 代表幹事

立候補の趣旨

理学療法士の急増、診療報酬の同時改定など我々を取り巻く、環境が大きく変化している中、協会の方針にも臨床家としての視点を反映していただきたいと思っております。その一助となればと立候補致します



氏名 原田 憲二

都道府県士会 東京都

年齢 49

勤務先名称 専門学校東都リハビリテーション学院

協会・士会役員歴

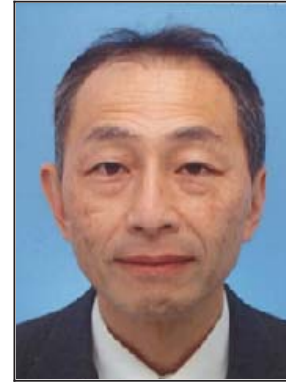
平成18年～平成24年度 社団法人東京都理学療法士会 広報部長
 平成24年～平成25年度 社団法人東京都理学療法士会
 理事 広報局長 広報部長
 平成25年度～現在に至る 公益社団法人東京都理学療法士協会
 理事 広報局長 広報部長
 平成26年度～現在に至る 公益社団法人日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

日本理学療法士協会も東京都理学療法士協会も会員増加に伴い拡大しています。どちらも公益法人を取得していますので会員向けサービスだけでなく国民・都民に貢献する活動が求められていると思います。

私もこれまで東京都理学療法士協会の広報局で都民に向けた広報を担当してきました。具体的には都士会ニュースの発行、さらに新聞紙面を利用し都士会活動を都民に紹介してきました。理学療法士の知識や技術を向上させることは会員にも都民にも重要ですが、「理学療法士」という職業を都民に知ってもらうことも団体が巨大になっているからこそ重要になってくると思います。

これまでの経験を活かし微力ではありますが代議員として日本理学療法士協会に協力できればと思いますこの度代議員に立候補いたしました。よろしくお願いたします。



氏名 杉本 諭

都道府県士会 東京都

年齢 51

勤務先名称 東京医療学院大学

協会・士会役員歴

立候補の趣旨

私は大学病院、訪問、介護老人保健施設で理学療法に従事した後に教員となり、15年間教育に携わっております。これまでに研究発表や講演などを行ってきましたが、県士会や協会の運営側として活動したことはほとんどありません。日本理学療法士協会の会員数は10万人を超え、今後も毎年10000人強の増加が予想されます。このような職能団体として、理学療法士としての職種の重要性・必要性を示しつつ、様々に変化する社会にどのように貢献していくかを考えることは重要であると思います。これからは私も運営側の視点に立ち、協会の活動にお役に立ちたいと思い、立候補いたしました。



氏名 木村 知弘

都道府県士会 東京都

年齢 32

勤務先名称 原宿リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

立候補の趣旨

この度代議員に立候補させていただきます原宿リハビリテーション病院の木村知弘です。現在臨床の現場で働く中で、自身の研鑽や経験年数の少ないスタッフに対する教育に関して難しさを感じています。理学療法士の質の担保・向上は必須であり、協会においても平成33年4月より生涯学習制度を変更する予定です。新制度では学習時間が大幅に増加し、さらにOJTも導入されることになっています。このような制度の変更は歓迎すべきことですが、臨床現場で働く者としては臨床業務との両立が困難なことなど、本当に実現可能か疑問に感じる点もあります。新制度の実現には病院や施設など会員の職場の協力も必須となります。卒後教育を充実させる上で、会員に負担を強いる制度変更では、制度自体の破綻にも繋がりがかねないと考えられます。新制度への移行と運用を円滑にする為にも、その内容や職場との連携体制など更なる検討も必要ではないかと考えています。また現在まで協会に所属している中で、協会の取り組みが会員や一般の方にあまり伝わっていないと感じることが多くあります。学会や研修会、理学療法の日に関する取り組みなど様々な魅力的なコンテンツをより多くの方に知って頂くことも課題だと考えます。協会の今後の更なる発展の為に、微力ではありますが貢献できればと考え代議員に立候補させていただきました。



氏名 林 弘康

都道府県士会 東京都

年齢 58

勤務先名称 専門学校社会医学技術学院

協会・士会役員歴

平成22年～ 日本理学療法士協会 代議員
平成22年～ 東京都理学療法士協会 理事
平成27年～ 東京都理学療法士協会 副会長

立候補の趣旨

代議員の役割は、会員を意識して協会の方向性を確認していく立場であると考えます。日本協会の活動と各士会が行う活動を理解して、事業等に反映させることが必要です。各士会で公益法人・一般法人として地域で認知される活動が行われており、各士会と日本理学療法士協会の緊密な連携が欠かせないものと考えます。代議員として、その役割を意識して活動していきたいと考えております。



氏名 原島 宏明

都道府県士会 東京都

年齢 49

勤務先名称 総合東京病院

協会・士会役員歴

2008年～ 社団法人 東京都理学療法士会 理事
 2008年～ 社団法人 東京都理学療法士会 介護保険部長
 2010年～ 社団法人 日本理学療法士協会 代議員
 2011年 第30回東京都理学療法学会 副大会長
 2012年 第31回東京都理学療法学会 副大会長
 2015年～ 公益社団法人 東京都理学療法士協会 副会長

立候補の趣旨

福祉保健局は、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず都民の皆様の健康に寄与するべく、理学療法の知識や技術を活かしたイベントや健康相談、研修会の実施などさまざまな事業を行っています。
 2013年に東京都理学療法士協会が公益社団法人としての認可を受けたことから、公益事業の推進に力を入れており、かつて一部の地域で実施していた健康相談などの都民向けの活動を、近年では協会全体でノウハウを共有して各地域で取り組んでおります。
 その中で都民の皆様の健康に関する調査を行い、知識・技術を向上し、事業をより良いものに育てる改善のサイクルを進めています。現在は東京都とも連携し、多くの地域で介護予防事業なども実施しています。
 都民の皆様とPTとの接点を増やし、人生のあらゆるステージで健康に貢献できるよう、今後も取り組みを続けたいと思います。
 東京都理学療法士協会副会長 福祉保健局業務執行理事 原島宏明



氏名 古川 順光

都道府県士会 東京都

年齢 49

勤務先名称 首都大学東京健康福祉学部

協会・士会役員歴

平成14年度～平成21年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部員
 平成19年度～平成21年度 第44回日本理学療法学会大会準備委員、運営調整部長、学術誌作成部長、人員管理部長
 平成22年度～平成24年度 社団法人東京都理学療法士会学術局新人教育部長
 平成25年度～平成26年度 第33回東京都理学療法学会大会準備委員長
 平成25年度～現在 公益社団法人東京都理学療法士協会理事、新人教育部長
 平成26年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

現在の理学療法士数は、私が理学療法士として社会に出た20数年前に比べ10倍近い数に激増しております。そのことは理学療法士を取り巻く環境を変化させ、これまでよりもさらに量より質が問われる時代となり、養成校での教育・就職後の生涯教育の重要性がより高まっているといえます。そのような中、日本理学療法士協会は平成24年度から新人教育プログラムを大きく変更し、生涯教育をより充実させようとしています。私は、平成14年度より東京都理学療法士会の新人教育部員、平成22年度からは同新人教育部長として、また平成25年度からは東京都理学療法士協会の理事として、理学療法士の生涯教育の開始時期における新人教育に関わって参りました。また、日本理学療法士協会の活動としては、第44回学術大会の準備委員として大会の準備・運営に、平成26年度からは代議員として協会の運営に携わって参りました。このようなこれまでの活動経験を活かし、代議員として会員の皆様の声を反映させていくお力添えをすることを通して、国民の皆様に戻元していくことができればと考え、このたび日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました。よろしくお願いたします。



氏名 上 蘭 紗映

都道府県士会 東京都

年齢 41

勤務先名称 平川病院

協会・士会役員歴

- 2009年 日本理学療法士協会白書委員会（任期2年）
- 2010年 日本理学療法士協会精神心理領域理学療法部門 運営幹事（現在まで）
- 2013年 東京都理学療法士協会 西多摩南多摩ブロック 世話人
- 2015年 第35回東京都理学療法士協会学術集会 学術局長
- 2016年 日本理学療法士協会・東京都理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

今回代議員に立候補させて頂いた上蘭です。私は精神心理領域理学療法部門設立時より運営幹事として活動を続けております。地域包括ケアや、昨今の高齢化、理学療法士の領域拡大などを含めて、認知症や統合失調症、うつ病等への対応は急務となっております。代議員となった折には、そのような視点から必要な意見を協会運営等へ反映できるよう尽力していく所存です。よろしくお願い致します。



氏名 岡安 健

都道府県士会 東京都

年齢 46

勤務先名称 東京医科歯科大学医学部附属病院

協会・士会役員歴

- 平成26年～ 日本理学療法士協会 代議員
- 平成26年～ 東京都理学療法士協会 事務局ライフサポート部 部長
- 平成28年～ 東京都理学療法士協会 代議員
- 平成29年～ 東京都理学療法士協会 文京区支部 支部長

立候補の趣旨

私は平成26年より日本理学療法士協会代議員を2期、4年間勤めさせていただきました。また、代議員と平行して東京都理学療法士協会では役員として平成26年より事務局ライフサポート部長として活動しております。わが国の医療・介護政策を反映する形で理学療法士の人数は増加傾向にあり、医療分野、介護分野、教育分野、一般企業など東京都理学療法士協会会員が活躍する場は多岐にわたります。このような状況の中で、理学療法士の働く現場においては勤務体系の多様化が推進されており、これに呼応して理学療法士のライフスタイルや仕事に対する考え方も大きく変化していると思われます。私は、東京都理学療法士協会の役員として会員の皆様のワーク・ライフ・バランスに関する動向調査や研修会開催、就労支援などをさせていただいておりますが、このような活動を都道府県単独で行うことには限界があり、日本理学療法士協会や他の都道府県士会の皆様と協力して活動を推進していくことが急務であります。今回、日本理学療法士協会代議員に立候補させていただき、日本理学療法士協会代議員総会への参加・質問などを通じて会員の皆様がワーク・ライフ・バランスの取れた環境で理学療法士として勤務し、様々なキャリアアップが円滑にできるためのお手伝いをさせていただきたいと考えています。よろしくお願い致します。



氏名 沖 真由香

都道府県士会 東京都

年齢 36

勤務先名称 順天堂東京江東高齢者医療センター

協会・士会役員歴

東京都理学療法士協会 区東北部区東部ブロック 世話人
東京都理学療法士協会 代議員

立候補の趣旨

私は、現在江東区内の病院に勤務しています。約4年間世話人として区東北部区東部ブロックの活動に関わって参りました。昨年度は現在の支部役員の皆様や支部員の方々と共に、江東区支部立ち上げにも参加させていただきました。今後は、地域独自の活動や役割なども求められてくるかと思えます。これまでの経験を生かし、さらに活動を進めて行くために、今年度代議員に立候補いたしました。どうぞよろしく申し上げます。



氏名 池田 由美

都道府県士会 東京都

年齢 50

勤務先名称 首都大学東京健康福祉学部

協会・士会役員歴

平成元年4月～平成3年3月：社団法人東京都理学療法士会 厚生部部員
平成3年4月～平成5年3月：社団法人東京都理学療法士会 事務局庶務部部員
平成5年4月～平成18年3月：社団法人東京都理学療法士会 学術局新人教育部部員
平成5年6月～平成7年5月：社団法人日本理学療法士協会 調査資料部部員
平成7年7月～平成9年6月：社団法人日本理学療法士協会 総務部部員
平成18年4月～平成22年3月：社団法人東京都理学療法士会学術局次長・新人教育部部長
平成21年5月：第44回日本理学療法学会大会 事務局長
平成22年4月～平成24年：社団法人東京都理学療法士会理事・学術局局长
平成22年～現在：公社)日本理学療法士協会 代議員
平成25年4月～現在：公社)東京都理学療法士協会理事・学術局局长

立候補の趣旨

私は、現在、公社)東京都理学療法士協会の理事ならびに学術局長として、都協会員の臨床力・教育力・研究力の向上をバックアップできるような環境づくりを目指して活動しております。

昨今、地域包括ケアや障害予防など社会から求められる理学療法士の役割も変化してきております。加えて、東京パラリンピック・オリンピックの開催を控え、多方面より理学療法士への期待が高まっております。また、指定規則の改正が行われることになり、理学療法士教育の見直しも始まります。このように、より一層の研鑽が我々理学療法士に求められています。

理学療法士の社会的身分の保証、活躍できる場の展開、国民への貢献等、取り組むべき課題は多々あると考えております。一人の理学療法士として協会員の皆様の意向を汲み反映していくことで、日本理学療法士協会の今後の展開に寄与できればと考え、このたび代議員に立候補致しました。よろしく申し上げます。



氏名 板倉 尚子

都道府県士会 東京都

年齢 54

勤務先名称 日本女子体育大学健康管理センター

協会・士会役員歴

平成26年度～ 日本理学療法士協会代議員
 平成27年度～ 東京都理学療法士協会理事
 平成24年度～平成26年度 東京都理学療法士協会スポーツの理学療法委員会副委員長
 平成27年度～ 東京都理学療法士協会スポーツ局長
 平成29年度～ 日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会委員

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員に立候補しました。私は、スポーツ支援推進執行委員会委員および都士会スポーツ局長として活動しております。私はオリンピックなどの国際総合競技大会に本部医務班として帯同した経験を2020年に東京都で開催されるオリンピック・パラリンピックに活かしたいと思っております。東京都は世界のトップアスリートを迎えるホスト国としての役割を担います。開催まであと2年数ヶ月となり、特に選手村や競技会場でメディカルサービスを提供するボランティアの養成事業は本会において重要な事業となります。私はこれまでの経験を活かして、協会会員の皆様と一緒に世界のトップアスリートをお迎えする仕事をしたいと考えております。また私は体育大学健康管理センターでスポーツ理学療法に特化した環境で理学療法業務を23年間して参りました。体育大学に進学を希望する高校生は成長期に積極的にスポーツ活動に参加しており、そのためスポーツ外傷・障害の既往をもつものが非常に多くみられます。しかし適切なスポーツ理学療法を受けられずに後遺症を抱えて入学する学生が少なくありません。現行の医療制度下ではスポーツの環境が求めるニーズに応じることが困難です。私は以前からこのような状況を解決する手段として、理学療法士の学校保健への参画を提案して参りました。保健室で養護教諭の方々と協力しながら理学療法士が活動をする事で身体機能回復・改善を目的とした関わりが増えることを期待しています。また教育環境の中で理学療法士が活動することは生涯を通した「身体づくり教育」を行える貴重な場だと考えています。日本理学療法士協会内でも学校保健への参画が検討されるに至り、これまでの経験を協会活動に生かしたいと考え立候補致しました。



氏名 南雲 健吾

都道府県士会 東京都

年齢 45

勤務先名称 リハビリ企画（同）

協会・士会役員歴

平成25年度～ 日本理学療法士協会代議員
 平成26年度～ 東京都理学療法士協会生活期共通評価表作成委員会委員長
 平成27年度～ 東京都理学療法士協会理事
 平成29年度～ 東京都理学療法士協会福祉保健局長

立候補の趣旨

平成6年より重症心身障害児施設、救急医療機関、老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅介護支援センターで経験を積んでまいりました。平成19年より起業し、東京都立川市にて通所介護、居宅介護支援、訪問看護、訪問介護の事業ならびに特定非営利活動法人の運営をしております。東京都理学療法士協会の理事として、乳幼児から高齢者まで、生活期のさまざまな課題を解決することを目指して活動しております。言語聴覚士と介護支援専門員の資格も生かしながら、多職種連携を信条に、これからも日本理学療法士協会の運営に微力ながら貢献していく所存です。引き続き代議員としての役割を担わせていただきたく、ここに立候補いたします。



氏名 輪違 弘樹

都道府県士会 東京都

年齢 31

勤務先名称 エバーウォーク墨田

協会・士会役員歴

平成27年～現在	公社)	東京都理学療法士協会	区東部区東北部ブロック	世話人
平成28年～現在	公社)	東京都理学療法士協会	代議員	
平成29年～現在	公社)	東京都理学療法士協会	地域活性局 墨田区支部	支部長

立候補の趣旨

この度、東京都より代議員選挙に立候補させていただき輪違弘樹と申します。私自身、約3年前より東京都理学療法士協会の活動に参加させていただき理学療法士の諸先輩方の活動により現在の理学療法士の分野が確立されてきたのだと感じております。今日の理学療法士が多種多様なフィールドできているまたは期待されているのは今まで協会活動をされてきた先輩方に賜物だと思いつつ同時に活動を通してそのような先輩方とお逢いして私自身も理学療法士協会の活動にさらに参加し、理学療法未来を考えていければと思います。

また、現在の理学療法士協会の会員数は10万人を越えてきておりますが会員年齢がとて若く組織です。このことは悲観することではありませんが若手の意見が反映されているのかという点では懐疑的であることは疑いの余地はありません。だからこそ人任せにするのではなく若手の意見が協会運営に反映するには若手が代議員選挙などにどんどん立候補することがこれからの時代は大切だとも感じております。今の協会運営の方々もいつかは引退します。その際に若手が今から協会運営に関与していないと良い意味での歴史が遮断されてしまいます。私が代議員になったことでどこまでできるかは未知ですが若手の意見が今まで以上に反映され若手の活躍の場を拡げる活動を精一杯実施していきます。



氏名 藤瀬 幸一

都道府県士会 東京都

年齢 39

勤務先名称 関東リハビリテーション専門学校

協会・士会役員歴

平成28年度 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

平成18年度より一般病院に6年間勤務し、回復期病棟、療養病棟、外来、訪問と様々なリハビリテーションを経験いたしました。その後は、平成24年度より関東リハビリテーション専門学校の理学療法学科で専任教員として勤務しております。知識や技術を教えるだけではなく、学生が卒業後に医療人として活躍できるように、人間力を育てることを大切にしながら教育を行っております。昨年度は代議員として日本療法士協会の運営に参加させて頂きました。これからも微力ではありますが協会の運営に貢献していく所存であります。引き続き代議員としての役割を担わせていただきたく、ここに立候補いたします。



氏名 田代 文子

都道府県士会 東京都

年齢 57

勤務先名称 清瀬リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

士会活動
 1987年～1990年 事務局調査部長
 1991年～2006年 保健福祉局長～次長、2011年～次長
 2012年～2013年 生活期共通評価表作成委員会委員長
 2015年～ 地域包括ケアシステム推進委員会委員長
 2016年～ リハビリテーション専門職連携推進委員会委員長
 1993年～2006年、2011年～ 理事
 協会活動
 2015年 組織率向上検討委員会委員
 2017年 倫理規程等検討委員会委員

立候補の趣旨

この2年間、地域包括ケアシステム推進として、人材育成、東京都や自治体との連携、リハビリテーション専門職三団体の連携推進に取り組んできました。人材育成では、導入研修修了者から、東京都の地域リハビリテーション専門人材育成研修へ推薦したり、実践報告とフォローアップ研修を開催してきました。また、各地域での研修への資料提供をしてきました。研修修了者や支部活動の中で、実際に地域活動に関わる理学療法士も増えてきています。今後も地域で活動できる理学療法士の育成を進めていく必要があります。

東京都とは人材育成研修や介護予防推進会議を通して情報交換を行っています。地域のリハ職につなげる方法として、東京都理学療法士協会に問い合わせをいただく自治体も少しずつではありますが増えています。

日本協会との連携としては、研修に都士会員を派遣したり、疑問点を問い合わせたりしています。

東京都との連携、各地域の情報収集を通して、「東京」という地域の特性から、発信できることもあると考えています。それを代議員の活動の中で発信していけたらと思っています。



氏名 山手 千里

都道府県士会 東京都

年齢 41

勤務先名称 東京衛生学園専門学校

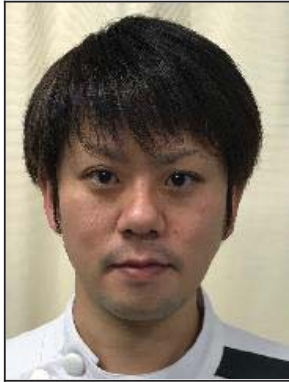
協会・士会役員歴

2015年～ 公益社団法人 東京都理学療法士協会 理事
 2015年 公益社団法人 東京都理学療法士協会 都民の声委員会 委員長
 2016年～ 公益社団法人 東京都理学療法士協会 学術局次長 研修部部长

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員選挙へ立候補させていただくことになりました、山手千里です。私は、2015年から東京都理学療法士協会の理事へ着任させていただいております。士会での活動としては、2015年には「都民の声委員会」の委員長として、都民の皆様からの相談窓口として対応させていただき、直接都民の方と接することも多く、理学療法士への期待も感じる事ができました。2016年からは学術局次長に着任し、研修部部长として研修部部員とともに理学療法士講習会の開催等を担当しております。会員も増加し、会員の学術活動への積極的な参加も伺えます。また、今後の生涯学習に関しては日本理学療法士協会と各士会との連携が、より一層必要となってきます。今後は、日本理学療法士協会の代議員として、理学療法士の知識と技術の向上のために、会員の生涯学習への取り組みに関わることが出来ればと考えております。その結果理学療法士が関わる全ての方々が安心して過ごせる環境を少しでも提供できることになると信じております。

以上が代議員立候補趣旨となります。よろしくお願致します。



氏名 鈴木 享之

都道府県士会 東京都

年齢 39

勤務先名称 社会医療法人社団大成会長汐病院

協会・士会役員歴

平成24年度～ 東京都理学療法士協会区西北部ブロック部世話人
平成29年度～ 東京都理学療法士協会豊島区支部部長
平成29年度～ 東京都理学療法士協会スポーツ局国際競技大会・スポーツ理学療法推進部副部長
平成29年度～ 日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会スポーツ理学療法総務小委員会委員

立候補の趣旨

私はこれまで東京都理学療法士協会区西北部ブロック活動として地域で行われるイベントや豊島区が行う「介護予防事業」「転倒予防教室」に参加して地域活動を行って参りました。このような活動の中で医療機関を離れ医療保険・介護保険の対象外となった方々にも理学療法を必要とされている方が多いと感じています。また、高齢者の方は身体的不調を感じた際に過度に活動制限をしまい体力低下の原因になっているように感じます。このような高齢者の方の相談に対応することで元気で健康的な生活を続けられるのではないかと思うことも経験します。私は、理学療法士の役割は医療機関にとどまらず地域につなげることだという事を実感しています。理学療法士が地域活動をするための環境整備や身分保障、教育的支援の充実を進めたいと考え立候補しました。

また、私は東京都理学療法士協会スポーツ局国際競技大会・スポーツ理学療法推進部部員としても活動しています。リオデジャネイロオリンピックの際には都士会代表として現地に入り、選手村や競技会場でのメディカルボランティア活動を視察しました。今年度から日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会スポーツ理学療法総務小委員会委員として活動することになりました。選手村や競技会場でメディカルサービスを提供するボランティアの養成事業は本会において重要な事業となります。視察で得た経験を2020年に東京都で開催されるオリンピック・パラリンピックに活かし、全国の皆様と共にこの事業を成功させたいと思います。